

— 多文化共生地域ネットワーク支援事業 —

募 集 要 項

1. 趣旨・目的

公益財団法人かめのり財団は日本とアジア・オセアニアの若い世代の交流を通じて、未来にわたって各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となるグローバル・リーダーの育成をはかります。

2020年から続く新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により国際交流事業が実施できない状況下で、その再開を見据え、2020年度・2021年度と緊急支援助成を行い、特に2021年度は多文化共生をテーマに日本国内の活動を対象に支援を行いました。

2年に亘る助成事業から見てきたことは、COVID-19により従来からあった問題が顕在化し、それがさらに深刻化していることです。現在、国内では外国人の受け入れや共生施策への必要性や機運が高まる一方で、地域における推進の担い手が不足しているという状況を鑑み、その担い手と、事業を進める組織の育成が急務と考え、2022年度は新たに「多文化共生地域ネットワーク支援事業」を立ち上げ、「かめのり多文化共生塾」、「多文化共生の担い手ネットワーク会議」を実施しました。また、これらの活動を通じて、受講生は具体的な活動プランを企画・立案し、ネットワーク会議での審査を経て、11団体・個人に2023年度の事業助成金が採択されました。

本年度も引き続き、多文化共生に向けた担い手育成とネットワーク形成のため研修会およびネットワーク会議を実施し、地域で多文化共生を推進する核となる人材が集い、相互研鑽する場となることを目的とします。

2. 概要

■ **構成・特徴** 以下の3つのプログラムで構成されます。1と2は参加必須です。

1. かめのり多文化共生塾

- ・地域の担い手に必要な多文化共生分野の知識と組織や事業のマネジメントに必要なスキルを学ぶ研修
- ・前期2日間・後期2日間の計4日間 * 調査や試行のための事前課題あり
- ・研修期間中に2024年4月からの事業計画を企画・立案し提出
- ・異なる3地区にて開催

2. 多文化共生の担い手ネットワーク会議

- ・2024年2月28日（水）・29日（木） 呉羽ハイツ（富山県富山市）
- ・3地区全ての受講生が参加する、ネットワーク形成を目的とした会議（対面またはオンライン）
- ・上記1の研修で提出された事業計画の中から、開催地区ごとに事前に発表者を選定
- ・選定された受講生は会場で発表を行い、発表後の審査を経て採択された事業には2024年4月より助成

3. 事業助成

- ・2024年4月より、上記2の会議にて採択された事業への助成（助成額上限50万円）

3. 主な講師陣（予定）

- ・川北 秀人 IHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人
- ・田村 太郎 一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事
- ・開催地区での実践者の方

4. かめのり多文化共生塾

- 日程・対象地区および開催場所 * 宿泊を伴わず、各日通い形式となります。

| 対象地区（開催場所） | 前期研修 | 後期研修 |
|--|-----------------------------|---------------------------|
| 東海・北陸地区 （愛知県犬山市） 会場：犬山市民交流センター「フロイデ」 会場へのアクセスはこちら | 2023年10月31日(火) 11月1日(水) | 2024年1月17日(水) 1月18日(木) |
| 近畿地区 （兵庫県三田市） 会場：三田市まちづくり協働センター 会場へのアクセスはこちら | 2023年11月7日(火) 11月8日(水) | 2024年1月30日(火) 1月31日(水) |
| 北海道・東北地区 （岩手県奥州市） 会場：水沢地域交流館（アスピア） 会場へのアクセスはこちら | 2023年11月14日(火) 11月15日(水) | 2024年1月23日(火) 1月24日(水) |

- スケジュール * 計4日間のプログラムです

| 前期研修 | |
|---|---|
| *参加決定後に前期研修までに提出する事前課題あり（地域ニーズやデータの収集など） | |
| 1日目 13:30～18:00 | 2日目 9:30～15:00@犬山・奥州、10:30～16:00@三田* |
| -開会、趣旨説明、自己紹介 -[解説講義①] 多文化共生の「これまで」と「これから」 -[解説講義②] 地域の実践者からの取り組み事例紹介 -質疑応答、意見交換 -ふりかえり 他 | -[解説講義③] 課題の要因・構造を確認するために -[演習]当事者の視点から課題を明確化する -[解説講義④]事業計画の9つの質問 -[演習]課題を解決する事業計画案の作成 -事業計画の発表・講師からのフィードバック -ふりかえり -後期に向けた課題の説明 他 |
| インターバル期間を利用した調査・試行 | |
| *後期研修までに提出してもらう課題あり | |
| 後期研修 | |
| 1日目 13:30～18:00 | 2日目 9:30～15:00@犬山・奥州、10:30～16:00@三田* |
| -インターバル期間に行った課題の報告 -事業計画のブラッシュアップに向けて -[演習]事業計画書の作成 -翌日の発表準備 他 | -事業計画の発表 -講師からのフィードバック -2月ネットワーク会議選出者の発表 -ふりかえり 他 |

* 兵庫県三田市の会場のみ、前・後期2日目の開始時間が10:30ですご注意ください。

* 研修内容および時間は、諸事情により変更の可能性があります。

- **参加人数（予定）** 各開催地において 20 名まで
*応募者多数の場合は抽選を行います（先着順ではありません）
- **参加対象者**
 - ・外国人支援に関心があり、多文化共生の活動に継続的に関与している方
 - ・多文化共生分野の知識と、組織や事業のマネジメントスキルを業務上必要とする方
 - ・事業の趣旨を理解のうえ、プログラムに主体的に参加できる方
 - ・プログラム全日程（下記 5 ネットワーク会議含む）に参加できる方
 - ・事前から事後まで、主催者が課す課題を定められた期日までに全て提出できる方
 - ・研修期間中に、2024 年 4 月からの事業計画を企画・立案できる方、また、その活動が事業助成*の助成対象事業にあてはまること

***5 ページ目以降の別紙「事業助成について」を必ずご覧ください。**
- **参加費** 無料
- **受講生負担経費**
 - ・自宅から会場までの往復交通費
 - ・研修期間中（4 日間）の昼食費

*遠方から参加のため宿泊が必要な受講生には会場近辺の宿泊情報を提供しますが、宿泊代は受講生負担となります。

5. 多文化共生の担い手ネットワーク会議

- **日程** 2024 年 2 月 28 日（水）・29 日（木）
- **開催地** 呉羽ハイツ（富山県富山市）<https://www.kureha-heights.jp/>
- **内容** 多文化共生塾の後期研修で発表された事業計画の中から、事前にいくつかが選出される。選出された受講生は会場にて発表を行い、同日の審査を経て採択された事業には 2024 年 4 月より助成する（4 件×3 地区＝最大 12 件を予定）。
対面またはオンラインで、受講生は全員参加とする。
- **スケジュール（案）**

| | |
|-------------|--|
| 2 月 28 日(水) | 昼集合、サイトビジット 2022 年度修了の助成対象者（5 団体程度）の経過報告交流会 |
| 2 月 29 日(木) | 3 地区から選定されたプランの発表・審査 昼食会、夕方解散 |

*内容および時間は、諸事情により変更の可能性があります。

- **参加費** 無料
- **受講生負担経費**
 - ・会場希望の場合、自宅から会場までの往復交通費・宿泊費・食費

*事業計画が選出され当日発表を行う受講生には、当財団規程による会場までの往復交通費・宿泊費・食費を支給します。

6. お申込み

- **お申込み方法** 下記のリンクより必要事項を入力の上、お申込みください。

| | | |
|----------|---|-----------------|
| 愛知県犬山市会場 | https://forms.gle/grW4dYVFeDU3n1qQ8 | 10月17日 17:00 締切 |
| 兵庫県三田市会場 | https://forms.gle/ob4HTgfNxnxxYM7b9 | 10月24日 17:00 締切 |
| 岩手県奥州市会場 | https://forms.gle/atcnJFXGygSNcxo79 | 10月30日 17:00 締切 |

*各会場によって申込み締め切り日が異なりますのでご注意ください。

*複数会場へのお申込みはご遠慮いただきますようお願いいたします。

*各会場についてのお問合せ先はリンク内をご覧ください。

7. Q&A

Q1: 多文化共生塾の4日間と2月のネットワーク会議の全てに参加しないといけませんか？

A1: はい、2月のネットワーク会議も含め全ての日程への参加が必須となります。

Q2: Zoom などオンラインで参加できますか？

A2: 多文化共生塾は、原則対面での参加となります。ネットワーク会議は発表者として選考された方は対面での参加を原則としますが、その他の受講者はオンライン参加も可能です。

Q3: 2024年4月からの助成金はどのように決定されますか？

A3: かめのり多文化共生塾で発表した事業計画の中から、開催地区ごとに事前いくつかの計画が選出されます。選出された受講生は2月のネットワーク会議で発表を行います。発表後、外部有識者を含む助成審査委員によって審査を行い採否が決定します。

Q4: 助成額はいくらですか？

A4: 助成額は1事業あたり上限50万円です。但し、事業の必要性や内容を審査の上、申請額を増額または減額査定して助成額を決定する場合があります。詳細は、5ページ目以降の別紙「事業助成について」をご覧ください。

Q5: 来年度も実施されますか？

A5: 現在検討中ですが、開催地区を全国に広めて実施していきたいと考えています。



お問い合わせ先：

(公財) かめのり財団 <https://www.kamenori.jp/>

TEL:03-3234-1694 E-mail: grant@kamenori.jp

公益財団法人かめのり財団

— 多文化共生地域ネットワーク支援事業 —
事業助成について

※「かめのり多文化共生塾 2023」へお申込みされる方は、事業助成に関する詳細についても、合わせてご確認をお願いします。塾の受講期間中に、事業助成の対象となる事業計画を企画・立案してもらいます。

■対象個人/団体の資格

- ・ NPO（非営利団体。法人格の有無は問いません）、ボランティアグループ、個人であること
- ・ 「かめのり多文化共生塾 2023」の全日程に参加し、かつ 2024 年 2 月の「ネットワーク会議」にも参加できる方
- ・ 「かめのり多文化共生塾 2023」の期間中に 2024 年 4 月からの事業計画を企画・立案できる方

■助成対象事業

- ・ 活動地域の実態を知るための調査・分析を行い、それにより明らかになった課題を解決するために取り組む事業であること(*1)
- ・ 活動地域が日本国内であること
- ・ 事業実施期間は、2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日であること
- ・ 事業の対象者（受益者）に、現在日本に居住しているアジア・オセアニアの国・地域からの在留外国人が含まれていること(*2)

(*1) 調査活動のみ行う事業は対象外とする

(*2) 対象とする国・地域

| | |
|-------|--|
| アジア | インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、韓国、中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス、台湾、香港、マカオ |
| オセアニア | オーストラリア、キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア |

■助成のための予算総額

600 万円

■助成額

1 事業あたり上限 50 万円

*事業の必要性や内容を審査の上、申請額を増額または減額査定して助成額を決定する場合があります。

■助成対象となる経費

- ・対象となるのは、人件費、旅費、通信運搬費、物品購入費など事業実施に必要な経費です。また、人件費には事業のコーディネートを担うスタッフの人件費も含まれます。その場合は費用の必要性・妥当性を示してください。
- ・組織基盤の維持にあたる経費（事務所家賃、光熱水費等の一般管理費）は対象外となります。

■提出方法・審査手順

ステップ1：企画・立案

「かめのり多文化共生塾 2023」の研修期間中に講師の指導のもと事業計画を企画・立案し、最終日に発表を行います。提出方法などの詳細については研修期間中に指示します。



ステップ2：選出

発表された事業計画の中から、開催地区ごとにくつかが2月の「ネットワーク会議」に選出されます。（4件×3地区＝最大12件を予定）



ステップ3：発表

選出された受講生は、「ネットワーク会議」にて以下の発表を行います。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ・自己紹介、テーマ | ・実施計画 ～誰が何をいつどのように |
| ・その問題の「これまで」～他機関の対応含む | ・実施上の工夫 |
| ・調査の結果、要因と構造 | ・費用概算 |
| ・「これから」の見通し | ・期待される効果 |
| ～このままだとどうなってしまうか | |

※発表内容・方法については多文化共生塾の研修期間中にもお知らせいたします。



ステップ4：採択

外部有識者を含めた助成審査委員が下記の審査基準で審査を行い、採択・条件付き採択を決定します（結果通知はネットワーク会議内で行う予定です）。

■審査基準

次の5項目を総合的に評価します。

- ①ニーズ（明確さ、深刻さ）
- ②実施内容（手法の具体性、工夫）
- ③連携（相乗効果、具体性）
- ④育成（担い手や当事者がどう育つか、ノウハウ共有が進むか）
- ⑤期待される効果（大きさ、ユニークさ）

■助成金の支払い

2024年4月末日を予定しています。

■中間報告会

採択された団体には、2024年度内に開催予定のオンライン中間報告会にご参加いただきます。

■報告書

事業終了後30日以内に所定の書式による事業報告書と収支報告書を提出していただきます。

■個人情報の取り扱いについて

- ・いただいた個人情報は、審査に関する確認のご連絡のために使用いたします。
- ・採択が決定した場合は、申込フォームに記載されたお名前、活動内容などを広報の目的から広報物（ホームページ、年次報告書、SNSなど）に掲載いたします。